



送付枚数：2枚

仙台BOSA I-TECH Future Awards

仙台市と共同でシステムの実証実験を行います

令和5年5月19日

本市では、昨年度から仙台市と共同で「防災」と「IT」の掛け合わせによる「BOSA I-TECH事業」の一環として「仙台BOSA I-TECH Future Awards」を実施しています。

本事業で株式会社ミライエの提案・開発した「画像と地図情報を連携した避難・被害情報共有システム」の実証実験を本年2月に実施しました。

この度、先の実証実験の課題等を踏まえて、同社がシステムのブラッシュアップを行いましたので、実用性や使いやすさ、課題等の検証を再度行います。

報道・取材方よろしく申し上げます。

記

日時：令和5年6月1日（木）13時30分～16時

会場：多賀城市役所6階 601・602会議室

内容：別紙「概要資料」のとおり

その他：仙台市「BOSA I-TECH事業」の詳細は、仙台市経済局産業振興課 ☎022-214-8263（直通）へお問い合わせください。

《問い合わせ》

総務部危機管理課防災減災係

☎022-368-1141（代表）

画像と地図情報を連携した避難・被害情報共有システム実証実験について

仙台BOSAI-TECH Future Awardsのテーマ「避難・被害情報の効率的な集約・共有」に沿って株式会社ミライエが開発した「画像と地図情報を連携した避難・被害情報共有システム」の実証実験を行います。

本システムは、本年2月に実施した実証実験の結果を踏まえて、より分かりやすく、実用的なシステムを目指して同社がブラッシュアップを行っています。

■システム概要

I P無線機※にて撮影した現地の写真や動画、対応状況を、パソコンやIP無線機から地図上で把握し、対応状況を管理可能なシステムです。

現状

音声伝達のみであるため、正確な被害状況や刻々と変わる対応状況の把握が困難。



改善策

I P無線機から、画像・動画、位置情報を送信。パソコン上から情報を確認可能。



本実証実験にて、システムの実用性、使い易さ、課題等を精査し、より効率的な避難・被害情報共有のあり方について検討を行います。

※ I P無線機

携帯電話のデータ通信回線を使用した無線システム。携帯電話のエリア内であれば全国どこでも通信が可能で、一斉呼び出しやグループ通信のほか、写真の送受信も可能。